



獅子舞 (2)

○佐山の獅子舞（八千代市指定文化財）

毎年9月23日に熱田神社と妙福寺で、親獅子・中獅子・女獅子の三匹獅子舞が行われます。この日は彼岸の中日なので「ヒガンジシ」といわれます。以前は24日も片付けを兼ねて寺で舞うハナナガシが行われていましたが、近年は行われていません。

この獅子舞は五穀豊穰と悪疫退散を願うもので、300年以上の歴史があるといわれています。以前は獅子舞講がありましたが、市指定文化財の第1号となつてからは、改称して「佐山獅子舞保存会」が結成され、獅子舞を伝承しています。

お腹に杵なし締め太鼓をつけ、オオガカリとカコイの2種類が行われますが、構成は両方ともほぼ同じです。動きに違いがあり、オオガカリは膝を高く上げ、つま先から地面に足をつく動き方で、カコイは踵から地面に足をつき、重心を低くとする動き方をします。笛の音程もカコイのほうが若干低く、ゆっくりしたテンポとなります。また、佐山では毎回手作りで用意される「花笠」が様々な場面で登場します。

佐山の獅子舞が行われている場所



花笠
令和元年撮影

◇ 佐山の獅子舞1日のながれ ※時間は近年の開催時の例

| 時間 | 場所 | 内容 |
|---------|------|------------------|
| 10時頃 | 熱田神社 | 社殿で神事・懇親会が行われる |
| 11時頃 | | オオガカリ |
| 休憩 | | |
| 13時頃 | 熱田神社 | カコイ |
| 14時頃 | | ミチブエを吹きながら妙福寺へ移動 |
| 休憩 | | |
| 16時頃 | 妙福寺 | オオガカリ |
| 17時30分頃 | | 行事終了 保存会員は直会 |

◇ 地域の方の話（平成22年調査より）

- ・獅子舞で使われた花笠は、終了すると崩して各自持ち帰りました。家に飾っておくと悪疫退散や家族円満の御利益があるといわれています。

- ・獅子役や笛役は代々家ごとに継承^{けいしょう}していました。例えばオヤジシを演じる家の人は、代替わりしてもオヤジシを演じます。
- ・オヤジシとナカジシがメジシを取り合いケンカをし、最後はオヤジシが勝つという筋書きは300年以上変わらないものです。



オオガカリ(ケンカ)
平成27年撮影



カコイ
平成23年撮影



ミチブエ
平成30年撮影

○その他の八千代の獅子舞

現在、八千代市内で獅子舞を見ることができるのは勝田と佐山の2カ所ですが、以前は勝田と佐山に加えて平戸、島田、吉橋、桑橋、麦丸、小池、桑納、村上でも獅子舞が行われていたようです。社会生活の変化や技術継承の課題などそれぞれの理由で中断した8カ所では、獅子頭がすでに無くなってしまっているなど、その現状は様々です。しかし、現在でも獅子頭に^{きねん}祈念を捧げる「^{かしらあ}頭上げ」の行事だけを行うなど、かつての獅子舞行事のおもかげを残している地域もあります。

◇ 村上の獅子祭

村上地区ではかなり前から獅子舞は行われていません。明治25年の神主の日記に「九月一日頭上げ」と書かれており、すでにこの時にはなかったことがわかります。獅子祭と呼ばれる頭上げの行事だけが脈々と続けられています。



村上の獅子祭
令和2年撮影

*ちょっと付け足し

千葉県の獅子舞…千葉県内では下総^{しもうさ}、安房^{あわ}、九十九里^{くじゅうくり}地域の各地に三匹獅子舞が伝承されています。五穀豊穰、悪疫退散のほか、雨乞い^{あまご}を目的としたものも多く残されており、行われる時期なども地域によって異なります。

本内容は、郷土博物館旧ホームページ内「民俗探検隊」コーナーで掲載していた記事を再編集したものです。



参考文献：八千代市『昭和60年度八千代市文化財総合調査報告 八千代市民俗音楽シリーズ1 佐山の獅子舞』
八千代市『八千代市の歴史 資料編 民俗』平成5年
八千代市文化伝承館『八千代の祭 探訪の葉 佐山の獅子舞』
八千代市歴史民俗資料館『企画展 獅子の世界-悪魔を払う獅子なれど-』
平成6年

やち博ライブラリー 第5号
発行日 令和2年11月1日
編集・発行 八千代市立郷土博物館